

「弘済会そくほう」は、学校担当がお届けしました。

教職員・弘済会会員の皆様

弘済会そくほう



平成30年3月号
公益財団法人
日本教育公務員弘済会
岐阜支部

貸与奨学金申請 4月30日締切 (必着)



奨学生本人による**自筆**の申請書が必要

遠方の大学等に進学される場合 早めの準備を！！



申請者への決定通知は、6月中旬
奨学金の振り込みは 8月下旬になります。

- 無利息
- 最高100万円を一括貸与
- 返済は最長7年
- 教弘会員でなくても申請可

申請者の条件、申請書等は 弘済会岐阜支部のホームページで**必ず確認**を！

平成30年度弘済会岐阜支部の事業 決定!

(公財) 日教弘岐阜支部第30回幹事会 (H30. 2. 26) 開催

News

新規・拡充事業

平成30年度事業が決定

へき地・複式学校教育支援事業
日教弘教育賞 (岐阜支部)
教員免許更新講習補助

へき地・複式学級のある学校に助成 20校 (各10万円を上限)
学校部門を公募・個人部門 (校長・副校長対象) を新設
平成31年3月31日が修了期限となっている者を対象とする講習 (第9グループ) を受講し、更新手続きが完了した会員 (図書カード3千円)

(注意事項) 教員免許更新講習補助 (新規) には**申請期限**があります。



更新講習修了確認証明書の日付	岐阜支部への 申請期限 (消印有効)
H30. 11. 30以前	→ H30. 12. 31
H30. 12. 1以降	→ H31. 2. 15



申請書は、「弘済会岐阜支部」で検索し、弘済会岐阜支部のHP (各種申請書) からダウンロードできます。

共済事業 (提携保険事業) 提携保険会社 (ジブラルタ生命保険 (株)) 各営業所電話番号

岐阜1・2 (058-267-6006) 大垣 (0584-83-4500) 関 (0575-22-3793)

美濃加茂 (0574-25-3658) 多治見 (0572-21-3732) 中津川 (0573-65-3517) 高山 (0577-32-1623)

■ 平成30年度学校研究助成（各校20万円を上限に教材・教具等を助成）

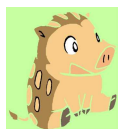
小学校		中学校	高等学校・特別支援学校
岐阜市立則武小学校 岐阜市立岩野田小学校 羽島市立足近小学校 山県市立美山小学校 瑞穂市立本田小学校 大垣市立安井小学校 海津市立城山小学校 揖斐川町立大和小学校 関市立富岡小学校	郡上市立相生小学校 郡上市立大中小学校 可児市立東明小学校 川辺町立川辺北小学校 多治見市立共栄小学校 瑞浪市立稲津小学校 中津川市立福岡小学校 高山市立荘川小学校 下呂市立宮田小学校	岐阜市立藍川東中学校 瑞穂市立穂積北中学校 大垣市立東中学校 大垣市立南中学校 郡上市立八幡中学校 可児市立広陵中学校 瑞浪市立瑞陵中学校 瑞浪市立釜戸中学校 高山市立丹生川中学校 高山市立清見中学校	岐阜工業高校 華陽フロンティア高校（通信制課程） 岐阜希望が丘特別支援学校 大垣養老高校 東濃特別支援学校 阿木高校 斐太高校

■ へき地学校教育支援事業（各校10万円を上限に教材・教具等を助成）

○ 平成29年度第二次募集助成校

大垣市 揖斐川町 関市 郡上市 七宗町	時小 坂内小 ・ 坂内中 板取小 石徹白小 ・ 高鷲北小 神淵小 ・ 神淵中	八百津町 白川町 恵那市 高山市 白川村	八百津東部中 蘇原小 ・ 黒川中 中野方中 ・ 飯地小 ・ 上矢作小 荘川小 ・ 朝日小 ・ 本郷小 ・ 荘川中 ・ 北稜中 白川郷学園（後期課程）
---------------------------------	--	----------------------------------	--

（平成30年度へき地・複式学校教育支援事業助成校は5月に決定予定）



弘済会の猪の独り言(15)

三月は、子どもたちとの別れ、異動の季節である。新たな勤務地に異動することは、わくわく感もあれば、寂しさや不安もある。

初任校で四年を過ごした（当時は、希望すれば延長可）私は、もう一年残留後に実家のある地区に赴任させていただけるようお願いし、「残留許可が出た」と聞かされていたので、異動はないものと決め込んでいた。ところが、三月四日の昼、突然、「残留できないことを告げられた。生徒からは度々「来年もこの学校にいるんでしょ」と聞かれることがあり、そんな時には、「また皆で頑張ろうね」と言っていたが、その後は軽口をたたくことができなくなった。

私は、密かに異動に向けての準備を始めた。次年度の学級編成資料、指導要録等々、期日までに完璧に仕上げた。ところが、最後にとんでもない失敗をしてしまった。異動することが生徒に分からないよう、職員室にある私の机の周辺の資料や私物などは、終業式が終わった午後から一気に片付けに入った（当時は、新聞発表があるまでは公表されなかった）。会議の資料等は、焼却炉で全て燃やした（当時は、どの学校にも焼却炉が設置されていた）。その中に、学級編成資料が混じっていたのだ。焼却炉に投入した瞬間、そのことに気付いたが、炎の勢いが強く取り出すことはできなかった。パソコンなどなかった時代である。紙媒体は赤々と燃えており、資料の復元は不可能だった。学年主任に事情を話し謝罪した。主任からは「失敗は誰にでもあるから」と慰められ、わずかに残っていたその他の記録のみで編成資料を改めて作成した。

私のような失敗をする先生は、きっとおられないだろう。一方で、今は個人情報の管理に神経を使わなければならない時代である。かつて内外教育に「退職した教員が十数年前の職員会記録を廃品回収に出した」という記事が掲載されたことがある。個人情報流出などの事故なく、新年度を迎えていただきたい。

